



会社概要

会社名	株式会社日本共創プラットフォーム (JPiX) / Japan Platform of Industrial Transformation, Inc.		
所在地	〒100-6608 東京都千代田区丸の内一丁目9番2号 グラントウキョウサウスタワー8階		
事業内容	長期的・持続的な企業価値・事業価値の向上を目的とした『エクイティ投資及び、傘下のグループ企業の事業経営』		
代表取締役社長	富山和彦		
種類株主	[無議決権株主] (五十音順) 株式会社伊予銀行、株式会社NTTデータ、MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社、株式会社群馬銀行、KDDI株式会社、株式会社埼玉りそな銀行、株式会社商工組合中央金庫、損害保険ジャパン株式会社、株式会社第四北越銀行、東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社、株式会社日本政策投資銀行、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社肥後銀行、株式会社北洋銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社山口フィナンシャルグループ、株式会社ゆうちょ銀行		
議決権所有株主	株式会社経営共創基盤		
連絡先	info@japanpix.co.jp	URL	https://www.japanpix.co.jp

日本の未来を共に創る

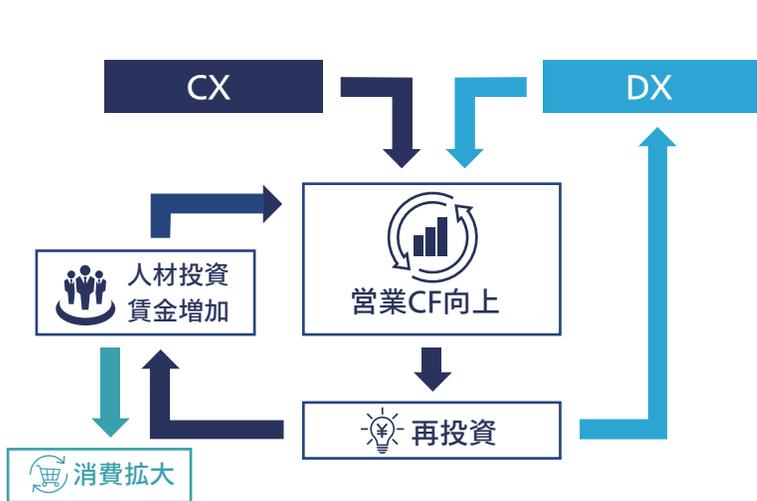
JPiXは日本経済再生に不可欠な地域経済の持続性確保及び成長にコミットします。ローカル経済圏を担う中堅・中小企業へ出資し、事業改革を共に進め、新たなデジタル技術も取り入れながら、その企業の「本質的な稼ぐ力」を高めます。



JPiXの目指す地方創生の形

経営の多面的な支援による好循環の構築

中堅・中小企業の事業・組織改革やデジタル化により、本来持っている稼ぐ力を再構築、その結果として生ずるキャッシュフローを人材や設備、デジタル技術等へ再投資して、将来のキャッシュフロー創出に繋げる。このような正の循環を作り、地域経済を活性化します。このために、親会社の経営共創基盤(IGPI)の人材やノウハウをフル活用し、リソース不足により停滞を余儀なくされている中堅・中小企業の成長を多面的にサポートします。



事業運営あるいはCX・DXに関する豊富な人材・ノウハウ

JPiXのユニークネス

恒久的な株式会社(事業経営会社)として持続性ある投資とハンズオン経営を実施

株式会社形態ならではの長期投資

JPiXは一般的なPEファンドと異なり、投資期間の制約を持たない通常の株式会社なので、恒久的・長期的投資を行えます。つまり、地域経済の成長に寄与すべく、近視眼的なキャッシュ創出を目的とせず、長期保有を前提とした人材育成や賃金向上、または積極的な設備投資等も実施します。

共に汗をかくハンズオン経営スタイル

JPiXの経営支援は、PEファンドでありがちな経営のモニタリング(取締役会での執行の監視)や財務面等のテクニカルな手法による改善、あるいは事業計画策定などに留まりません。自らの事業として、営業や組織運営や工場の改善活動、経営管理実務など、皆様と一緒に汗をかきながら、本質的な事業価値の拡大に向けた取り組みを行います。

支援アプローチ

コーポレートトランスフォーメーション(CX)

企業の事業構造改革・組織構造改革をコーポレートトランスフォーメーション(CX)と呼びます。経営層から事業の最前線の現場までプロスタッフを派遣する「ハンズオン」型の経営支援によって、会社の形(戦い方・組織体制・人材・経営インフラ等)の再創造、または適時適切に自ら進化していく能力・カルチャーの再構築、これらを共創します。

デジタルトランスフォーメーション(DX)

生産性向上のためのもう一つの重要な手段が、AI/IoT、ロボティクス、5Gなどの最新デジタル技術の活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)です。IGPIグループがベンチャー企業への出資や研究室との協業で培ってきた最先端テクノロジーの知見、または多くの企業における実装ノウハウを活かし、皆様の会社のDXを成功させます。

JPiX傘下の交通事業会社 みちのりホールディングスの実例

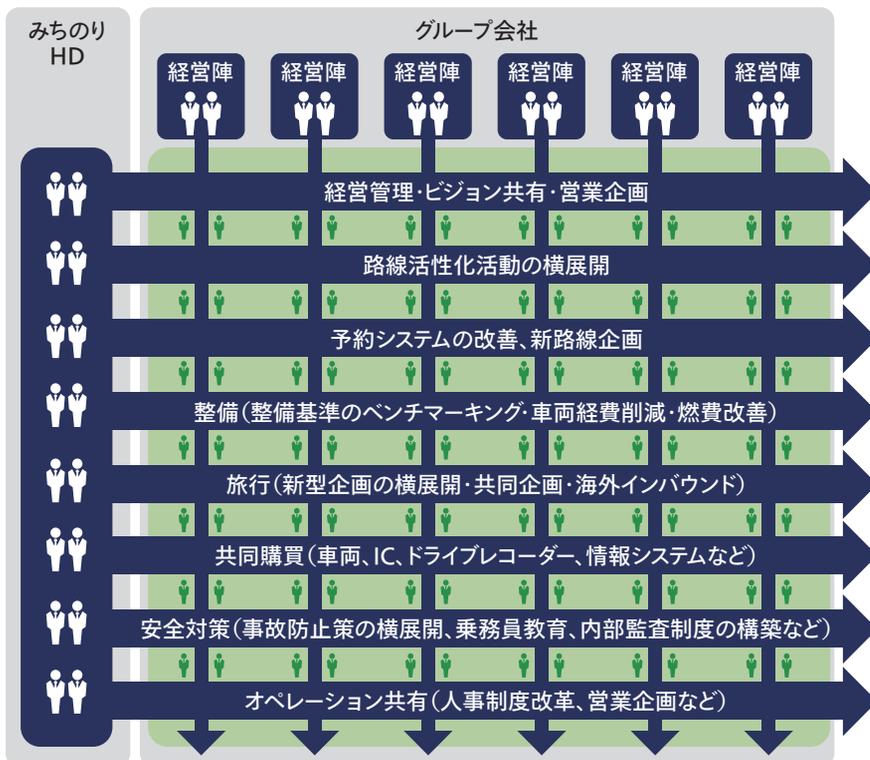
みちのりホールディングス(みちのりHD)では、東北・関東エリアにて公共交通サービス事業者に投資し、長期的に経営にコミットすることで、CX・DXを実行しています。みちのりHDとグループ各社協業によりさまざまな新サービス・施策を実行し、利便性の向上、ユーザーの獲得を通じた事業価値向上とともに、ひと・もの・情報流通を通じた地域経済効果を果たしております。

JPiXは、このみちのりHDのような取り組みを、他の産業・地域において展開して参ります。



縦横のハンズオンスタイル

常駐者による経営・運営(縦串)と、事業分野・プロジェクト単位の横串機能による、常駐協業型支援を行っています。



DXの取り組み

ダイナミックルーティングやバスロケデータ、MaaS、キャッシュレス化など、デジタルテクノロジーを積極的に活用しています。



多様な決済手段の導入



岩手県北バスのダブルデッカー



ダイナミックルーティングのイメージ図*1



茨城県内の移動手段を検索できるアプリ「Hitachi City MaaS Project」*2

*1ダイナミックルーティング: AI(人工知能)が車両のルートやスケジュール(ダイヤ)を計算して、効率的な配車・運行を行うサービス

*2Mobility as a Service (MaaS): ICT技術の活用により、自家用車以外の交通手段による移動を一つのサービスとしてとらえ、スムーズにつなぐ新たな移動の概念